



第155号

発行所  
 社会福祉法人玄洋会  
 指定障害者支援施設  
 【昭和学園】  
 〒811-3522  
 福岡県福津市奴山616  
 TEL (0940) 52-4686  
<http://www.genyoukai.or.jp/>  
 E-mail: syouwa@mocha.ocn.ne.jp  
 福岡県障害児等療育支援事業  
 【地域支援センターさくら】  
 TEL (0940) 52-8551

障害福祉サービス事業所  
 【やまと更生センター】  
 【東区第1障がい者基幹  
 相談支援センター】  
 福岡市東区三苫8-105-1  
 TEL (092) 607-3778

児童発達支援センター 障害幼児通園事業  
 【糟屋子ども発達センター・さくら保育園】  
 糟屋郡篠栗町尾仲1100-3  
 TEL (092) 948-4468

障害福祉サービス事業所【浜千鳥】  
 宗像市神湊118-4  
 TEL (0940) 62-1167

共同生活援助事業【ケホーム若杉】  
 糟屋郡篠栗町中央6丁目32-1  
 TEL (092) 931-5011

障害福祉サービス事業所【宝満】  
 糟屋郡粕屋町酒殿1-23  
 TEL (092) 652-1005

児童発達支援センター  
 【福津子ども発達センター・さくら館】  
 福津市福岡南3-5-8  
 TEL (0940) 42-1235

【ゆうゆうぶらざ】  
 宗像市神湊118-4  
 TEL (0940) 62-5777

共同生活援助事業  
 【共同生活住宅 安ら居】  
 福津市奴山603  
 TEL (0940) 62-5056

児童発達支援センター  
 【福岡東子ども発達センター・さくら園】  
 福岡市東区雁ノ巣1丁目6番10号  
 TEL (092) 607-5987

編集責任 山田 正道  
 編集 中村 恭子

### 新年に寄せて

明けましておめでとーございませう。

新年早々暗い話題は避けたいものですが、どう  
 してもコロナは外すわけにはいきませぬ。  
 幸いなこと二年間、徹底した消毒と外界遮断の  
 おかげでパンデミックとかならなずに済みまし  
 た。でもこの猖獗を極める流行の様を見ている  
 といつか感染する：という脅迫観念にとりつか  
 れます。けれどよく考えると感染しても死ぬわ  
 けでなし不治の病となるでもなし：と思えば気  
 が軽くなります。  
 ウイズコロナというわけです。その時は全員  
 でくしゃみや熱・悪寒と闘いながら通り過ぎる  
 のを待とうと決意しました。決意したら何かすーっ  
 と楽になりました。

本当に中国のお陰で酷い日に遇いました。ふーっ。  
 昨年、一昨年は耐乏生活をしながらも各施設そ  
 れぞれに、運動会や夏祭り、もちつきやひな祭  
 り等、生活を楽しむ豊かにする工夫をし、実践  
 しました。全体でやるよりも反って個々の施設  
 でやる方が具合がよいということも沢山ありま

した。

法人としても年間三大行事、夏祭り、運動会、  
 御生誕祭も見直します。まず夏祭りはゆうゆう  
 ぶらざで幾つかの施設合同でやりますが、法人  
 全体としてはしません。次に、運動会は原則と  
 して各施設毎に行う。二、三の施設が合同で行  
 うのは構わない。御生誕祭、これは令和の時代  
 なので令和と名を換え、エンターテインメン  
 トを主として学芸会風に法人全体で楽しむこと  
 とする。：等です。あまり変り映えがしません  
 が。

運動会も利用者の平均年齢が二十歳前後だっ  
 た三十年前の昭和学園と今の壮年ばかりの昭和  
 学園では運動種目に差が出てくるのは、当然の  
 ことです。創立三十年経った昭和学園、人員の  
 入れ替わりが少ない入所施設と次から次に新卒  
 者が入ってくる通所の施設では構成人員の年齢  
 も違うし要求される運動や演芸の種目も違うの  
 は当然のことです。  
 穏やかで静かな分化が進行中といったところ  
 です。

ここでお知らせがあります。やまと更生セン  
 ター施設長高原朗子氏(前熊本大学教授)は今回、  
 自民党の公認候補として今七月の参議院選挙に  
 全国区比例で立候補の予定となりました。同氏  
 は九大卒業後、自閉症施設に指導員として勤務

し、さらに九大大学院に入学して知的障害や発  
 達障害の研究生活に入り、自閉症の療育関連で  
 学位もとって大学で教鞭をとっておられました  
 が、今回、一大決心をして障害福祉分野を代表  
 して国政の場で働こうと決意されたわけです。  
 こと政治に絡んできませんので強制したり、依頼  
 したりするわけにはいきませんが、我々と生活  
 を同じくする障害福祉分野の代表として考えて  
 いただき皆様に支援いただければ幸いです。

(理事長) 楠 峰光



令和4年 寅年

謹賀新年



あけましておめでとうございます。

さくら館では、年末、職員向けにその年の業務についてアンケートを行っています。内容は、環境に関するものから、子どもたちの支援方法に至るまで様々です。先日、一昨年前のリストを見直した所、懸案事項のほとんどが翌年には改善されているのを確認し、こうして細かな事から一步一步足元を固めることが、前へ進んで行く自信となっているのを感じました。少しでもよいと思つたことはすぐに取り組む、この積み重ねこそが十年、二十年と続く支援の形を作っていきます。創業は易く守成は難し。創業も決して易くはありませんが、自分たちの使命は守成にあると心に刻み、また新しい年を迎えたいと思います。

(福津子ども発達センター・さくら館 後藤)



職員手作り門松 (昭和学園)

皆様、どのような新年を迎えられましたか。皆様がこの記事を読まれている頃は、私は安ら居で利用者と一緒に無事新年を迎えられた後ということになるでしょう。安ら居が開所して四度目の年越し宿直です。昨年、安ら居開所後初めて自宅で年を越しました。年末年始を安ら居で過ごすことが定番になっていた私にとって、逆に少し落ち着かなかつたことを覚えていきます。利用者と一緒にカウントダウンをして、「今年は何をしようか」なんて話をしながら、私の中でその年の目標が明確になっていきます。利用者にとってより充実した生活が送れるよう新しいことにも挑戦しつつ、私自身も成長していきたいです。

(安ら居 白石)

新年あけましておめでとうございます



職員手作り門松 (浜千鳥)



手作り門松 (宝満)

新年に寄せて

新年あけましておめでとうございます。私は東区第一障がい者基幹相談支援センターで、主にやまと更生センターの利用者の方及び福岡東子ども発達支援センターさくら園の利用児の方の計画相談支援を担当しています。未就学のお子さんから高齢期にかかる方まで幅広く関わらせて頂いています。相談支援専門員として利用者の方々およびそのご家族に寄り添った支援が行えるように、各事業所と連携を図りながら業務を務めていきたいと思つています。一日も早くコロナ禍が終息し、皆様にとって幸多き一年となりますようにお祈り申し上げます。

(東区第一障がい者基幹相談支援センター 池田健)



手作り門松 やまと更生センター

昨年は昭和学園の開設三十周年という大きな節目の年でしたが、一昨年に引き続き新型コロナウィルスの感染予防に追われる一年となりました。法人内でクラスターなどの大きな被害は出ませんでした。帰宅や面会、利用の制限など保護者の皆様からいただいた多大なご協力のおかげでもありました。

そのような中でも昨年春、新たに「福岡東子ども発達センター・さくら園」が玄洋会の仲間に加わり、法人としても四十周年五十周年に向けて次の一歩を踏み出しました。

また、昨年からは玄洋会のホームページも一新し、各事業所の行事や活動の様子を定期的にブログ形式で掲載しています。利用者や職員の素敵な笑顔と日々の様子が垣間見える記事を、保護者・関係者の皆様にも楽しんでいただけますと幸いです。

(昭和学園 魚住)



## 健康を考えた食事

昭和学園の利用者は、昨年に続き年末年始を昭和学園で過ごすお正月を迎えました。なかなか自由の利く世の中ではありませんが、昨年に比べると幾分か過ごしやすいいお正月ではないでしょうか。皆さま御身体を大切にしながら伸び伸びと楽しいひと時をお過ごしください。

さて、今回は昭和学園のお正月の献立を紹介します。

元旦の昼食の献立は、「おせち・お雑煮・栗赤飯」です。

お雑煮は、博多雑煮のように具だくさん。

おせちは、たらこ巻・カニ爪フライ・紅白

なます・黒豆・合鴨

コース焼・鶏の照焼

つくね・市松ようかんなど8種類ほどを

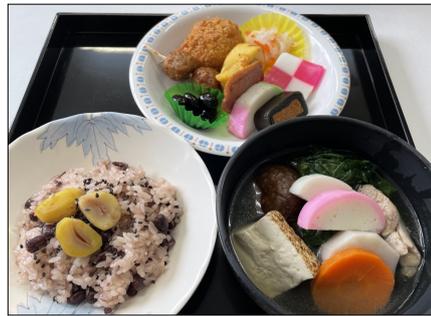
丁寧に盛り付けて提供

しました。昼食後のおやつは保護者会よりお

正月仕様のカステラを頂きました。皆さんあつ

という間にたいらげ、ニコニコしていました。今年も利用者皆さんの胃袋をグツと掴んで離さないくらい勢いで給食を提供していきます。本年も宜しくお願い致します。

(昭和学園 栄養士 中村)



## お世話になった方々と30周年を祝いました。

毎年7月の開園記念日に合わせて記念行事の準備をおこなってきました。約半年前の7月は新型コロナウイルス感染者がまだ多く、利用者、職員のみでおこないました。

その後、感染者数が減少傾向になり12月23日に保護者、お世話になった方々をお呼びして、ゆうゆうぷらざ(宗像市神湊)にて開催することになりました。感染者数が増えた時は「2日前でも中止の連絡をする」という覚悟をもって、12月に入って開催の案内をしました。

迎えた12月23日は晴天で日中は15℃まであがりました。窓を常に開けて換気をしてさほど寒さを感じない快適な日和に、気持ちも晴れやかになりました。

式典では30年間、ご指導いただいた当法人最高顧問の村田豊久先生、永年にわたり保護者会と学園の執り成しをして頂いた中山和子参与、学園前に防風林の植樹で環境面からご支援いただいた北山様に感謝状と記念品の贈呈がありました。そして利用者にも表彰状の授与がありました。「永年勤続生活賞」(入所して25年~30年の人)、「永年勤続生活努力賞」(入所して15年~25年の人)です。さらに、何度も発作を起こしながら生命の危機を乗り越えた人に「生命輝き賞」、麻痺や言語障害もありながら元気に暮らしている人に「重複障害乗り越え賞」、昭和40年代に自閉症の診断を受け、療育体制の整っていない時代から頑張ってきた人に「自閉古参賞」などが授与されました。

お祝いの会では浜千鳥の利用者は歌と踊り、昭和学園は劇をおこないました。最後は『とんがり帽子』(緑の丘の 赤い屋根~とんがり帽子の時計台~鐘が鳴りますキンコンカン~)を歌って締めました。職員の有志も楽器演奏、演武(新選組)、ネパール出身の生活支援員2名による踊りなど披露しました。保護者会の方からも歌を披露して頂き、最後は糟屋子ども発達センターの前センター長、瀧石先生による三味線です。『どんたく囃子』の総踊りをおこない、会場一体となって30周年の節目を皆さんとお祝いすることができました。



約2年、家族と会えないでいた利用者もおり、家族も親御さん同士も久しぶりの再会で楽しいひと時を過ごせたと思います。同時に、新型コロナウイルスに負けない力を養う貴重な時間にもなったと確信しています。ご参加くださった皆様、大変にありがとうございました。

(昭和学園 木村)



# クリスマス会



今年も残り1ヶ月となりました。この1年間を振り返ると子どもたちの成長がとても頼もしく感じます。

12月は催し事づくしでその中でも子どもたちが楽しみにしているクリスマスがあります。週に分けて制作を行ったり、クッキングでお菓子作りを行いました。活動の一環として子どもたちが保護者の分も作ったカップケーキはお迎えの時にきれいにトッピングをして皆で一緒に食べました。さくら保育園のサンタさんから「メリークリスマス！はい、プレゼントどうぞ」と手渡されると、会釈をして両手で受け取ったり「ありがとう！」と元気な声できらきらした笑顔でお礼を言っている姿をみると、またひとつ心に残る楽しい思い出ができたようで嬉しく思います。

(糟屋子ども発達センター・さくら保育園 吉良)



# 餅つき大会

大人の施設も 子どもの施設も  
感染予防を徹底して、つく体験、丸める体験をした後に保護者と一緒についた餅を試食して楽しめました☆



### 誕辰祭

令和三年十二月二十二日、福津市にある東郷神社に於いて、東郷元帥生誕百七十四歳誕辰祭が執り行われました。明治三十八年、日露戦争での日本海海戦において、当時、世界最強と呼ばれたロシアのバルチック艦隊を対馬海峡で迎え撃ち、それらを全滅。「海戦史上類を見ない完全勝利」とも言われるほどの大勝を収め、日露戦争を終戦に導きました。そこで日本連合艦隊司令長管を務めていたのが東郷元帥こと東郷平八郎でした。後に世界三大提督の一人にも数えられ、多くの軍人からも尊敬されることとなりました。そんな日本海海戦が行われた場所を見下ろせる場所にある東郷神社での生誕祭に我々法人職員もお手伝いをしています。式典の中では奉唱として「日本海海戦」「海行かば」を歌い、身の引き締まる思いとなります。このように歴史に触れられる地域交流の場を今後も大切にしていきたいです。

(昭和学園 青山)



### 三苦校区地域連携防災会議

一昨年より、三苦防災推進委員会より声をかけていただき、三苦校区地域連携防災会議に出席しています。最初に出席した会議では、防災推進委員会会長から、近年の国内での自然災害の発生状況から三苦校区でもいつどのような災害に見舞われるかもしれない、三苦校区にいる住民だけでなく学校や福祉関係の事業所なども協力して自分たちの命は自分たちで守らなければならないという旨の話がありました。町内会の各区の区長をはじめ、学校や福祉事業所等が集まり、三苦校区にどのような人たちが機関・事業所があるのかなど知るところから始まりました。その後、小学校に避難する場合に知的障害や発達障害の障害特性から配慮してもらいたいことなど意見交換などもできました。昨年十一月に、三苦校区での防災訓練が初めて実施されました。三苦公民館を本部にして、三苦小学校と和白青松園の二か所を避難所として開設した場合を想定した内容でした。約二十名ほどの方が参加しており、やまと更生センターからは一名、指定避難場所である三苦小学校での訓練に避難者役として参加しました。地域の方からこのように声をかけていただいてもありがたいと感じています。また、やまと更生センターの建物は丈夫な構造ですので、地域の方の役に立てるかもしれないと思っています。今後会議などに参加し、万々に備えていけるように取り組んでいきたいと考えています。

(やまと更生センター 松井)

### 避難訓練

令和三年十一月十二日避難訓練を行いました。浜千鳥では、毎年五月、十一月に避難訓練を実施しています。



毎回火災が起きる可能性のある個所を想定して、利用者が安全に素早く避難出来るルートを考えます。もしもの時に避難がスムーズに出来る様に細かい事ですが、利用者が外履きに履き替える事で出入り口が混雑し動きが滞る時間を失くす為に上靴のまま外に避難する事や音が苦手な利用者さんにも警報器のサイレンの中頑張つて避難する練習をしてもらいます。職員にとっても役割を意識し行動する大切な機会です。これからも、しっかりと訓練をして万が一に備えたいと思います。

(浜千鳥 濱崎)

# 忘年会

十二月八日水曜日、安ら居忘年会を開催しました。安ら居会会長の放送で手を綺麗に洗い、手指消毒をして皆食堂に集まり今年一年の労を労いました。一人ひとり前に出て今年楽しかったことや頑張ったことを発表し、好きなジュースで乾杯しました。コロナ禍での開催のため、食事中はお喋りせず黙々と食べる忘年会でしたが、皆美味しそうに食事をされていました。最後は、ビンゴ大会で盛り上がりました。

(安ら居 上妻)



# 成人式

玄洋会では、成人を迎えた利用者を毎年祝っています。

規模を縮小し、本人と家族、職員、数名の利用者で式典を行いました。



やまと更生センター 「お祝いの膳」

「アトリエやまと」

ひとりひとりが、異なる時間の流れや世界を様々な形を生み出し、「あるがままに」感じていること、考えていることを素直に表現しています。



複数の創作講師による継続した指導のもと、作家たちは大きく芸術性を発揮し、迫力ある魅力的な作品を生みだしています。

そうした作品は市や県、全国規模の公募展に出品しています。令和3年12月に開催された「第13回福岡市障がい児者美術展(コアサイド・アート)」(アジア美術館)では「アトリエやまと」から26名の作家が出品し、11名が入賞しました。障害者雇用支援月間絵画コンテストでは、毎年のように入選作を出しています。



作家たちの作品には、ユニークな世界が表現されています。繊細だったり、力強かったり、可愛らしかったり、ほっこりしたり…。作品から感じることは様々。そういう作品に接するのもアトリエ活動の楽しみのひとつです。

(やまと更生センター 佐々木)

あんずの里 案山子コンテスト出品作品

2021昭和学園指導課新人職員謹製

金彩乱舞埴輪案山子

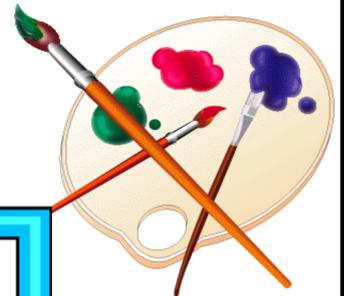
～五穀豊穡と無病息災を願って～



今春、昭和学園指導課に入職しました新人職員の総力を結集し、あんずの里かしのコンテストに出品したオリジナル作品です。長引くコロナ禍の中、“金色の埴輪が天に向かって乱舞し、災いを吹き飛ばす”という思いが込められています。

さらに、“五穀豊穡”と“無病息災”の御札を両手に掲げ、豊作と健康成就のご利益が皆様を訪れる事を切に願って製作致しました。

昭和学園の眼下に広がる世界遺産の奴山古墳群の周辺にも美しい田園が広がっています。夕日に照らされた畑で金色に輝く埴輪の案山子が遠くない春の訪れを待っています。



玄洋会カレンダー2022

原画展

日時：令和4年3月1日(火) ～ 3月26日(土)  
10:00 ～ 15:00 (最終日14:00まで)

※最終日以外の土・日・祝日は閉館

場所：ゆうゆうぶらざ  
宗像市神湊118-4

オンライン原画展

期間：令和4年3月1日(火) ～ 3月26日(土)  
※玄洋会のホームページに掲載します。

子どもから大人まで玄洋会の利用者の沢山の作品  
で出来ています。

皆様の投票(現地投票及びオンライン投票)により優秀作品が 決定します。

